

平成20年度知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)採択提案一覧表

地方自治体名	地域名	特定領域	中核機関	主な参画機関 (大学、公的研究機関等)	クラスター名、事業の概要	広域化プログラム
愛知県 名古屋市 岐阜県	東海広域	ナノテクノロジー・材料、環境	財団法人科学技術交流財団	名古屋大学、名古屋工業大学、名城大学、岐阜大学、豊橋技術科学大学、豊田工業大学、中部大学、三重大学、和歌山大学、東京理科大学、徳島大学、岐阜県セラミックス研究所、岐阜県機械材料研究所、岐阜県産業技術センター、(財)ファインセラミックスセンター(ナノ構造研究所・材料技術研究所)	『東海広域ナノテックものづくりクラスター～世界を先導する環境調和型高度機能部材の創製～』 愛知県を中心とする東海広域地域では、「世界有数のものづくり拠点としての持続的発展」を戦略として、自動車・工作機械や航空機産業の裾野を支えている中堅・中小企業における部材・加工技術を、先進ナノテクノロジーの活用により底上げする「東海広域ナノテックものづくりクラスター」の形成を目指している。 第Ⅱ期では、第Ⅰ期の成果と中堅・中小企業等で組織する成果活用研究会等でのニーズを踏まえて、研究領域の重点化と先進研究者のさらなる結集を図り、「世界を先導する環境調和型高度機能部材の創製」をコンセプトに、先進プラズマナノ科学・工学を核として、省エネ・環境負荷低減に貢献するナノ先進部材の高機能化やナノ加工技術の高度化に向けた研究開発を推進する。また、第Ⅰ期での国際連携の実績を発展させ、先進プラズマナノ科学の世界拠点形成を図る。 地域事業では、東海広域知的クラスター創成事業本部に設置する「知的クラスター地域実用化協議会」を核として、研究成果の普及、応用研究・試作開発の支援など、中堅・中小企業への技術移転・事業化の促進に向けた地域事業について、愛知県、名古屋市及び岐阜県が共同して強力に実施していく。	先進プラズマナノ科学研究拠点形成プログラム
富山県 石川県	富山・石川地域	ライフサイエンス	財団法人北陸産業活性化センター	富山大学、富山県立大学、金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、金沢医科大学、金沢工業大学、石川県立大学、東京大学、岡山大学、富山県(薬事研究所)、石川県(工業試験場)	『ほくりに健康創造クラスター』 両県の共通コンセプトである「健康創造クラスター」の実現を先導する研究開発事業として、世界に誇る医・薬学研究テーマを更に発展させるとともに、その研究・診断・治療に貢献するバイオインスツルメントの研究開発を進め、成果の事業化を図る。第Ⅰ期の技術成果を更に発展させる研究として、両県が世界的優位に立てる研究目標、すなわち①医薬基盤技術を活かしたバイオ機器開発、②イメージング診断機器開発に向けた研究開発を展開する。 各研究開発テーマには、成果として研究、診断及び治療用インスツルメントの開発を設定しており、それらの製品化を実現するように事業展開を図る。第Ⅰ期同様、ベンチャー企業の創出・育成、リーディングカンパニーの誘致を図るが、地域企業の参画も多数得ている。また、広域化プログラムとして3つの技術の国際標準化を推進する。 両県は別途、地域の特性を活用した機能性食品、ヘルスツーリズムなどの裾野の広い産業創出も推進しており、そのための地域プログラムも設定する。	ほくりに先導型研究開発の国際連携拠点形成
京都府 京都市	京都およびけいはんな学研地域	ナノテクノロジー・材料、環境	財団法人京都高度技術研究所	京都大学、京都工芸繊維大学、神戸大学、同志社大学、立命館大学、京都女子大学、甲南大学、京都市産業技術研究所	『京都環境ナノクラスター』 知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)においては、クラスター形成に向けての第Ⅰ期の実績と経験、時代の趨勢、地域の特性を踏まえ、関西文化学術研究都市との広域連携により、ナノテクノロジーを核技術に、地域産業の強みである「部材」の高機能化をめざし、産業の高度化と国際競争力のさらなる向上を図っていく。すなわち、ナノテクノロジーによる「部材」の研究開発を行い、京都およびけいはんな地域に高機能部材産業を集積させることにより、世界トップレベルの知的クラスター形成をめざしていく。	京都環境ナノグローバル拠点化プロジェクト